

(別記)

令和元年度乙部町農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当町の水田面積は全体耕作面積の3割程度となっており、主食用米が基幹作物である。

また、畑作物では東京の卸売業者と契約栽培をしているブロッコリーが生産額で主食用米に次ぐ規模であり、ブロッコリーを主力作物とした輪作体系の確立を目指している。

そのほか、立茎アスパラガスや高設イチゴを中心とした施設野菜の振興を通じて複合的な農業経営を推進し、経営の安定を図っている。

しかし近年、ブロッコリーの生産量が伸び悩んでいることから、連作障害を回避し、ブロッコリーの安定生産を図るためにも輪作作物の振興が不可欠であり、ナス科、ウリ科、マメ科、イネ科作物の作付拡大を図り、ブロッコリーの生産量の安定化を図っていく。

また、生産数量目標の減少に伴い転作田が増加してきているが、当町の土壌が粘土質のため透水性が悪く、特に湿害の受けやすいマメ科作物などの収量は不安定なものとなっている。そのため圃場整備や土壌改良材等による土壌物理性の改善を進めていかなければならないが、それよりも優先して、今後の生産の目安の配分を見据えたなかで水張面積の拡大、加工用米の振興を図っていく必要がある。

2 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

地域の需要に応じて生産の目安の配分に従って生産していく。

(2) 非主食用米

ア 加工用米

主食用米の需要減が見込まれる中、加工製造業者から加工用米の要望があり、地域の実情に応じた品種選定や栽培方法を選択し、安定的な供給を図っていくため、非主食用米については加工用米を中心的に作付面積の拡大を図っていく。

イ 飼料用米

加工用米を中心的に作付面積の拡大を図っていくことから、飼料用米については経営所得安定対策の水田活用の直接支払交付金や産地交付金の道枠の助成について、生産者に説明した中で、生産意欲のある生産者で生産していく。

(3) 麦、大豆、飼料作物

輪作作物として収益性の改善を図っていき、作付面積の拡大を図っていく。

(4) そば、なたね

不作付地の発生を未然に防止する効果が高いため、地域の実需者との契約に基づいて現行の栽培面積の拡大を図る。

(5) 高収益作物（園芸作物等）

ブロッコリーを中心とした輪作体系の確立に向け、特に馬鈴薯、南瓜、小豆、スイートコーン、ハトムギの作付けの維持・拡大を図っていく。

(6) 畑地化の推進

高収益作物等の地域振興作物の作付けを推進していく。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 30 年度の作付面積 (ha)	令和元年度の作付予定面積 (ha)	令和 2 年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	91.1	91.0	90.9
飼料用米	0	0	0
米粉用米	0	0	0
新市場開拓用米	0	0	0
WCS 用稲	0	0	0
加工用米	3.1	3.2	3.3
備蓄米	0	0	0
麦	10.8	10.9	11.4
大豆	7.9	10.7	11.2
飼料作物	66.5	66.5	62.6
そば	3.7	5.7	6.0
なたね	0	0	0
その他地域振興作物	8.0	9.2	9.7
・ブロッコリー	6.2	6.4	6.6
・スイートコーン	0	0.1	0.2
・カボチャ	0	0.8	0.9
・ばれいしょ	1.8	1.9	2.0
その他作物	1.4	2.5	3.5
・アスパラガス	0.2	0.3	0.4
・いちご	0	0.1	0.2
・ゆり根	0	0.1	0.2
・ニンジン	0	0.1	0.2
・大根	0	0.1	0.2
・ヤーコン	0	0.1	0.2
・サトイモ	0	0.1	0.2
・サヤエンドウ	0	0.1	0.2
・かぶ	0	0.1	0.2
・ごぼう	0	0.1	0.2
・長ネギ	1.2	1.3	1.4
小豆	1.6	1.7	1.8
ハトムギ	12.9	18.3	19.2

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	
				前年度（実績）	目標値
1	野菜	高収益作物作付加算	作付面積 取組者数	(H30年度) 9.4ha 2人	(2年度) 13.2ha 4人
2	小麦、雑穀（ハト 麦）、小豆、大豆 （乙部町優良品種）	その他地域推進作物 作付加算	作付面積 取組者数	(H30年度) 25.9ha 4人	(2年度) 42.6ha 6人
3	野菜（ブロッコリー、スイト コン、カブチヤ、馬鈴薯）	地域振興作物助成	作付面積	(H30年度) 8.0ha	(2年度) 9.7ha
4	野菜（整理番号3 の作物を除く）	その他作物助成	作付面積	(H30年度) 1.4ha	(2年度) 3.5ha
5	小豆、小麦	小豆、小麦助成	作付面積 小豆・単収 小麦・単収	(H30年度) 11.7ha 小豆 94.5kg/10a 小麦 200.4kg/10a	(2年度) 12.4ha 小豆 213.1kg/10a 小麦 475.5kg/10a
6	そば	そば作物助成	作付面積	(H30年度) 3.7ha	(2年度) 6.0ha
7	大豆（乙部町優良 品種）	大豆作物助成	作付面積 単収	(H30年度) 1.3ha 88.6kg/10a	(2年度) 11.0ha 163.0kg/10a
8	雑穀（ハト麦）	ハト麦助成	作付面積 単収	(H30年度) 12.9ha 115.9kg/10a	(2年度) 19.2ha 125.9kg/10a

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定して下さい。

※ 目標期間は3年以内としてください。

5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり